

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-6_男女共同参画社会の形成

基本計画		事業番号	細事業名称
5-06-01	男女共同参画社会の推進	02278_01	男女共同参画推進事業
5-06-02	DV対策の推進	03467_01	DV対策推進事業
5-06-02	DV対策の推進	03467_02	新居浜ほっとねっと補助金

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	02278_01	
事業名(行目名称)		男女共同参画推進費		細事業名	男女共同参画推進事業		
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	男女共同参画社会の形成		
	基本計画	男女共同参画社会の推進		担当課	男女参画・市民相談課		
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	市民		数値	116,052人		
	手段(どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> ・にはまりリーダーズスクールの開催・市政だより特集号等で市民へ啓発ほか ・にはま女性ネットワーク定例会の開催(毎月1回)、男女共同参画社会づくりについての調査研究・講座への参加、活動報告書の作成 ・講演会等の開催を通して男女共同参画社会形成への意識の高揚と実践力をつけるため、女性連合協議会の活動を補助。 					
	目的(どんな状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県と歩調を合わせ、男女共同参画社会についての趣旨を講座や啓発活動を通して理解してもらう。 ・男女共同参画社会づくりを推進する若手・中堅女性リーダーの育成及び女性のエンパワーメントの向上。 ・男女共同参画社会づくりを推進するため、女性の自立と社会参画を促進する。 					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		252	817	817	412	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費 296千円 ○旅費 68千円 ○需用費 55千円 ○役員費 18千円 ○負担金補助及び交付金 380千円 	
財源	県・国支出金	0	0	0	0	令和3年度決算額 男女共同参画推進事業 252千円 にはま女性ネットワーク運営事業 20千円 女性連合協議会活動補助事業 27千円	
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	252	817	817	412		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
委員会、審議会等への女性の参画率(%)			目標値	50	40	40	40
			実績	29	31.3	32.3	32.2
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>○男女共同参画推進週間(8/1～8/7)に合わせてロビー展や市政だよりで啓発活動を実施。男女共同参画計画の取組状況調査も実施し、不十分な項目については検討を行う。</p> <p>○委員の改選時期前に担当課と協議することで、審議会等の女性の参画率については増加傾向にある。</p> <p>○にはま女性ネットワークについても新たな委員を任命し、男女共同参画や女性のエンパワーメントを図るための研修や講座を中心に活動を行っている。他の審議会等の委員へも就任し、市政に関わりながら自己のスキルアップに努めている。</p> <p>○女性連合協議会の活動については、新型コロナウイルスの影響により、上半期はあまり活動が行えなかったが、下半期について感染対策を講じながら事業を実施していく。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
リーダーズスクールの開催や女性グループ(にはま女性ネットワーク・女性連合協議会)の活動支援、啓発活動等を実施し、人材育成、社会参画等の男女共同参画の推進を現状のまま維持しながら、男女共同参画社会の実現に向け事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
<p>前年度は新型コロナウイルスの影響で実施できなかったリーダーズスクール、女性連合が主催する新春特別講演会と男女共同参画社会づくり講演会を開催。多くの市民が参加して男女共同参画社会づくりに向けて学びを深める機会となった。また、女性ネットワークについては、新たな委員12名が研修などを中心にエンパワーメントを図った。</p> <p>審議会等の女性の参画率については、中間値から0.1%減少し、前年度からの増加は0.9%の増加にとどまった。令和7年度末までに40%を達成するため取組の強化が必要。</p> <p>男女共同参画社会の実現に向けて、継続して取り組んでいく他、市政だよりや出前講座などを活用しながら、多くの市民の方に周知徹底していきたい。</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	03467_01	
事業名(行目名称)		DV対策推進費	細事業名	DV対策推進事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	男女共同参画社会の形成		
	基本計画	DV対策の推進	担当課	男女参画・市民相談課		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	116,052人	
	手段(どうやって)	配偶者暴力相談支援センターで、市民の身近な相談窓口としてDV被害者の相談を受け、庁内各課を含めた関係機関と連携し、相談者の生きる力の回復、自立支援を行う。また、必要な時には、緊急避難支援及び緊急一時保護を実施することにより、生命を守る。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	DV相談を受けることにより、相談者の様々な相談内容に即した適切な対応を行い、配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護を図り、被害者等の福祉の向上及び自立支援に資する。必要な時には、緊急避難支援及び緊急一時保護を実施することにより、生命を守る。				
III 投入費用						
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		4,046	4,999	4,999	4,209	○報酬(コーディネーター・相談員) 3,435千円 ○職員手当等(コーディネーター) 297千円 ○共済費(コーディネーター) 362千円 ○報償費(通訳、弁護士・心理士相談・講師) 307千円 ○旅費 335千円 ○需用費 81千円 ○役務費(携帯電話代・連絡郵送代) 98千円 ○負担金補助及び交付金(出席負担金) 28千円 ○扶助費(緊急一時保護等) 56千円
財源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債		0	0		
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	4,046	4,999	4,999	4,209	
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度
DV被害者相談件数		目標値	180	180	0	180
		実績	338	196	95	228
						令和5年度
						—
V 事中評価						
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			高い
<p>コロナ感染防止の影響で、現地開催が難しい国県主催の研修・女性関連施設相談員研修については、オンラインによる研修に参加し、スキルアップを図った。また、県DV防止対策連絡会では、県内関係相談機関との情報・課題共有ができた。</p> <p>8月～10月にかけてDV相談員養成講座を開催し、市民への啓発及び相談員のスキルアップ、将来相談員の育成を図った。</p> <p>11月には、女性に対する暴力を無くす運動実施期間及び児童虐待防止推進月に併せたキャンペーンを開催し、ライトアップやロビー展、DVと児童虐待防止に関する講演会を実施し、市民への啓発と相談窓口の周知に努める。</p>						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
<p>ワンストップサービスとして、相談者の負担減と事務処理の迅速化を図られることを目的に、引き続き相談・支援・自立までのサービス提供を実施する。そして、相談者に寄り添い、適切な対応を行い、被害者の保護と自立支援に資するため、DV相談員のキャリアアップおよび新たな相談員の育成を図る必要があり、現状維持をして事業を実施する。</p>						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
<p>DV相談件数は、目標値は達成し、昨年度に比べ32件増加した。令和4年度後半は、子育て支援課経由の相談が多く、DV及び児童虐待家庭に関する連携支援が重要である。</p> <p>今後も引き続き、配偶者暴力相談支援センターの更なる周知に努め、身近な相談窓口として引き続き相談・支援・自立までの支援を行うとともに、パープルリボン・オレンジリボンキャンペーンでのDV防止啓発講演会、相談員資質向上及び新規相談員養成のための講座、ロビー展等により、暴力防止に向けた啓発活動等、事業内容の充実を図っていきたい。</p>						

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	03467_02	
事業名(行目名称)		DV対策推進費	細事業名	新居浜ほっとねっと補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	男女共同参画社会の形成			
	基本計画	DV対策の推進	担当課	男女参画・市民相談課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	116,052人		
	手段(どうやって)	DV被害者等からの電話相談、面接相談に応じ、問題解決と自立までの援助事業、一時保護、同行支援など、きめ細かいサポートを行っていく。女性の自己決定権と子どもの権利を保障する啓発講座や広報活動を行っていく。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	DV被害者が精神的回復を得て、自立していくまでの支援等を行っていく。不登校、虐待など問題のある過程の女性や子どもが回復するよう支援を行っていく。NPO法人新居浜ほっとねっとのメンバー一人ひとりが、今まで培ってきた知識や経験を生かし、それぞれのネットワークを利用して効率を上げることができる。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 285千円	
経費		285	285	285	285		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	285	285	285	285		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
相談件数			目標値	0	0	0	0
			実績	468	353	150	239
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>被害者からの電話及び面接で相談を受けて自立に向けたサポートや保護に努め、市や関係機関と連携し、国や県主催の研修や連携会議にも積極的に参加するなど、協力関係を図っている。予防啓発とセルフケアをテーマに研修や講演会も実施している。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>市では配偶者暴力相談支援センターを開設しているが、より多くの窓口でDV問題等に対応できるという意味で、本事業は有効な取組であり、情報共有等連携をとっていく必要があるため、現状維持をして事業を実施する。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>NPO法人新居浜ほっとねっとでは、面接・電話相談、同行支援や、DV被害者の精神的回復のための講座(全6回)等を行い、DV被害者に対してよりきめ細かいサポートを行った。また講演会開催や、情報誌、HPを使った広報活動など、DV防止啓発のための事業を行った。今後も、引き続き市配偶者暴力相談支援センターとの情報共有、連携を図ることで、新居浜市全体として、よりきめ細かなDV防止対策を図っていく必要がある。</p>							